

環境の都ニュース

2019.10.1 NO.101

“環境の都”をめざして
発行
長岡京市環境の都づくり会議
責任者：江川 宗治
編集者：安楽 裕子

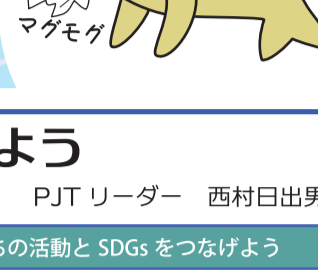
プラごみ考

日常空間からユートピアを夢想する

生活していると、必然的にゴミが次々出てくる。たいがいものは分別してリサイクルへ回し、生ゴミは堆肥にするので、可燃ゴミは2か月間でゴミポリ袋一枚いけるかな、という程度。リサイクルに回る中で厄介なのはプラごみです。リサイクルしても手間暇エネルギーコストがかかる。海に流すと地球全体の危機。いつそのこと全部燃やしてしまえ、というわけにいかないらしい。プラは排出されるCO2が半端じゃないと、乙訓環境衛生組合の人から聞いた。リサイクルして再生するか、埋め立てるしかないらしい。どっちも厳しい。埋立地は容量の限界に近い。リサイクルしてプラスチック製品を作るにしても、石油から作るよりコストが高くつく。しかも種類の違うプラが混在して、低品質プラにしかならん。プラスチックというのは厄介物を製造してやるようなものだ。リデュースしまくって生産をゼロに近づけるしかないのか。

一方方向性としてはある。全部まとめて完全分解させ、消し去ってしまう。プラスチックを食う微生物はいくつか存在する。処理に時間がかかるので、微生物の動きを化学的に再現し、効率化と短期化を図る必要がある。方向性としてはこれが最善と思う。

削減するプラ処理は、あとになら価値を生み出すことなどない。ただただ厄介物として消去するのみ。処理費用はプラ製造者とプラの輸入業者が負うのが本筋。製品価格に転嫁し、それにより消費を抑制へと誘導する。そんな形で製造を抑え込み、代替品への移行を促す。こんなふうの問題解決できればハッピーハッピーだが、甘い道だろうか？



船越 聡【漫画家】
(イラストも筆者)

ここCOライブ PJT

私たちの活動とSDGsをつなげよう

エスディーゼーズ

PJTリーダー 西村日出男

最近「SDGsに関する情報」を目にしたり聞いたりする事が多くなりました。とはいえまだまだなじみの薄い言葉であります。SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択されたもの。国連加盟国が2030年までに17分野で社会課題の解決を達成することを目標に掲げています。今では、全世界で「地方・企業・ボランティア団体の多くがSDGsに積極的に取り組み始めています。サポートセンターでは17の目標のうち11の目標の「住み続けられるまちづくり」第17の目標の「パートナーシップで目標を達成しよう」を重視しています。

この度、長岡京市民活動サポートセンターでは「SDGsってなんだろう？実は私たちの活動とつながっているんだ！」と題して「SDGs勉強会」を開催することになりました。まさしく「SDGs×みんなの活動」をたのしく知ってもらおう勉強会です。発表者の片山洋子さん、西村日出男さん、古澤登美代さんと共に、皆さんの活動がSDGsとつながっていると実感できる楽しいイベントにしたいと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

長岡京市民活動サポートセンター 加納久美子 -1-

私たちの活動とSDGsをつなげよう

SDGs勉強会

日時
2019年11月4日(月・祝)
13:00-15:00
場所
長岡京市民活動サポートセンター
TEL 075-963-5505

ビोटープ PJT

小泉川上流ですくすく教室

PJTサブリーダー 小根田勝信



「6月22日、神足小学校の子供達26名がバスを使って参加してくれました。当日は晴天に恵まれ、外気温30度以上の暑い夏日となりました。でも谷川付近の温度は25度、川の温度は21度と別世界。川に入ると足が冷えて、冷たく感じるくらいです。昨年夏の台風の影響を心配していましたが、川には大きな変化もなく、ホッとしました。でも、暫く雨が降っていないだったので水量は予想以上に少ない状況でした。外気温が上昇したり、水量が減ると水温も上昇し、渓流に棲むアマゴ等の魚には厳しい環境になります。今回も水生生物の勉強をした後、サワガニ、カワムツ、どんこ(10cm)などを取りました。時の経つのも忘れ、親子で楽しい一時を過ごして頂きました。

花を咲かそう PJT

天空の楽園が乙訓の景勝スポットに！

PJTサブリーダー 奥西弘武

7月18日9時～12時、西山公園体育館と中央公民館で花壇の花壇整備を行いました。夏場の生育が困難なところでマルチシートの効果で花々は元気に育っており、体育館での若葉カップバドミントン大会ではマリーゴールドとニチニチソウが全国の選手を迎えること

ができてホッとしました。また周辺の秋菊も緑濃く成長し、11月8日の植え替えと相まって花々の競演になるでしょう。私たちが天空の楽園と呼んでいる西山公園体育館の2F庭園にはこの夏から「乙訓景観十景」の立て札が建てられました。市の公園管理課から承諾を求められたとき、下界の眺望のことであり私たちにしかかわりないもの日頃の環境美化活動も否与しているのだと受け止めて、大歓迎の返事をしました。



(参考：建て主は乙訓地名詩編纂「チーム乙訓」)

エコ PJT

大山崎町立中央公民館で「夏の身近な科学遊び」を行いました

PJTリーダー 田原誠一郎

中央公民館では毎年夏休みに「夏休み子ども教室」を開催し、いろいろなイベントを行っています。長岡京市環境の都づくり会議も10数年前から参加しており、「楽しく遊びながら学べる身近な科学教室」として、毎年たくさんの小学生とご家族に参加していただいています。今年は特に多くのご家族に参加いただき、にぎやかな雰囲気

で工作や遊びが盛り上がりました。今回のテーマは「ぶんぶんゴマ」です。竹を加工して作った「片手ぶんぶんゴマ」と、使用済みの牛乳パックを使った「両手ぶんぶんゴマ」を工作し、うまく回す方法や、回転させた時の色の変化を楽しみました。

両手ぶんぶんゴマ

牛乳パックのリサイクル活用を兼ね、調理用綿糸を二本通して両手で回すぶんぶんゴマ作りと、ぶんぶん回す立て勢よく回す体験をしました。色の塗り方で回転したとき色が混ざると色の変化が楽しめる実験もしました。光と色の三原色について子どももお母さんも取材にいられた新聞記者さんもちょうびり勉強出来ました。

片手ぶんぶんゴマ

片手で操作して先端部が開閉することを利用してぶんぶんゴマ回し装置の製作と、回転方向によって色が変わるぶんぶんゴマを体験してもらいました。竹のバネ性を利用した工作は指先に力が必要のため低学年には完成品支給にして、全員で回し方のコツを習得しました。

-2-

竹林再生 PJT

長岡公園竹林の整備

PJTリーダー 湯川圭造



当公園は市の公園緑地課の委託を受けて、長年にわたり整備、管理しています。日頃、市民の散歩コースとしても親しまれているので、気持ちのいい散策コースとしての維持管理に努めています。また、「竹あかり」行事の会場としても、多くの市民の皆さんに楽しんで貰った場所です。現在、春の筍シーズンは小学生のすくすく教室を中心に多くの子供たちに筍掘り体験を行い、大変喜んで貰っています。今年も4月13日に長岡第四小、4月14日に古市町自治会、4月20日に長岡第六小、4月27日に長法寺小の子供たちに筍掘りを楽しんで貰いました。



収穫は1人平均15本程、その他行事を含め、約3,000本以上の筍を収穫しました。まさに地産地消そのもので、すごい事です。放っておけばそれだけの竹が毎年増えていくと思えば、ちょっと怖いですね。快適な竹林環境を維持し、子供達や市民の皆さんに喜んで貰えることにやりがいと責任を感じ、今日も作業に汗を流しています。



里山再生 PJT

リュウゼツランの花（花を見たら奇跡）

PJTリーダー 加藤克巳

向日が丘支援学校の校門横のリュウゼツランの花が咲きました。(写真1)7~8メートルの高さがあります。20年~60年に一度咲き、花を見たら奇跡だといわれています。単子葉植物、リュウゼツラン科の多年草です。ラン類と同じ単子葉植物ですが科が違います。単子葉植物は本来、草(草本)なのですが、このように大きくなるものもあります。(モウソウグサも単子葉植物イネ科の多年草で、大きくなりますので同じような進化的道筋を辿ったのではとされています。)1か月ほどかけて花が咲き、株は枯死します。株の根元の様子が写真2です。はっきり見ませんが子株が3つほどあります。この親株が枯れても子株は残るものと思われま

す。株の周りに種子らしきもの(写真3)全長8cmが沢山落ちていました。細長い種子状のものに根がついているような形状です。これから子孫を残せるようです。カナブンがとんでいました。インターネットでは花の先端の数個は結実するとありましたから虫媒花なのでしょう。そばに副校長先生の説明書と新聞記事があり、7月25日に開花したそうです。私が見に行ったのは、8月10日で、京都地方の最高気温が38.5度を記録した日です。花ははるかに高いところでよく見ません。写真1



女性の方が一人先に来られており、「上の方はよく見えませんか」「お歩きですか」「お気をつけてお帰下さい」と声をかけ合いました。写真2

祝 環境の都ニュース 101号発行

社会福祉法人 ゆりかご会

ゆりかご保育園

〒617-0823 京都府長岡京市長岡1丁目17-15
TEL. 075-954-6410 FAX. 075-954-3599

特産「筍」のご当地スイーツ

贈り物にも最適です

京都府「現代の名工」和菓子職人の店

喜久春 京都府長岡京市長岡2-28-40
電話 075 (955) 8016

バラエティ コーナー

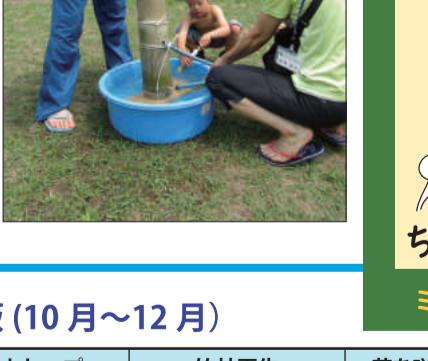
支援学校生、夏イベントを堪能

竹林再生PJT 野村佳子

夏の日差しを照りつける6月19日、向日が丘支援学校小学部の子どもたち45人のアソビデーの催しにしました。企画では、竹シャワー・竹ピタゴラスイッチの2種類の準備でしたが、メンバーのアイデアで水鉄砲・水車・ししおどし等沢山の遊具を追加しました。どれも力作で、「きつと子どもたち喜んでくれる!!」誰かの為に一生懸命な、大人たちのキラキラした笑顔がとまも素敵でした。

いよいよ当日、水着姿で続々と集まった子どもたち。竹シャワーの下で冷たい水を浴びて「きゃー」と喜んでいたり走って通り過ぎてみたり。竹を半分に割って流しソーメンのようにポールを流すピタゴラスイッチはものすごく人気で、「ポールを流してー!」と叫ぶと沢山の子どもたちが楽しんでポールを流してくれました。水鉄砲は少しコツが必要でしたが、練習するうちに一人で上手に水を飛ばせるようになり、先生や、私たちは水鉄砲的になってしまいました。

あつと言っ間の一時間半。またね~!と嬉しそうに帰って行く子どもたちを見送り、イベントは大成功!!子どもたちの、あんなに素敵な笑顔に出会える事が出来た事、このご縁に感謝の気持ちでいっぱいです。



えす でいーじー ず

SDGs

そいでもって どーにかしたいから ゴーする

ちがうだろ!!

ミヤコちゃんのエコまんが 作：船越 聡

2019年 環境年間行事日程 直近版(10月~12月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビोटープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	ここCOライブ、等
10	環都ニュース発行(10/1) 環都月例会議(10/8) ササキフェスティバル(10/20) 出店・展示	森林ボランティア(10/6) 西山F環境探検隊-3(10/19) 森林ボランティア(10/20)	竹炭焼き(第2、第4木曜)	竹林整備活動(毎週月曜)	緑のサポーター(随時)	エコMe(10/15) すくすく教室小(10/23)	
11	向日ヶ丘支援学校祭(11/7~9)	森林ボランティア(11/3)	すくすく金ヶ原(11/9四小)	花にしきバーベキュー(11/1)		SDGs勉強会(11/4)	
	環都月例会議(11/12) 第11回長岡京市環境フェア(11/16)	森林ボランティア(11/17) Xマスリース教室(11/30)		竹林整備体験会(11/3)	体育館花壇整備(11/8)	エコMe(11/19) すくすく教室小(11/1)	
12	京都環境フェスティバル(12/7) 環都月例会議(12/10)	森林ボランティア(12/1) 森林ボランティア(12/15)	竹炭焼き(第2、4木曜)	竹林整備体験会(12/1)	正月飾り準備作業(12/7) 竹林整備活動(毎週月曜)	正月飾り講習会(12/7)	
				3PJT合同例会&忘年会(12/)			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは江川まで。Tel. 075-957-6169 E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

ホームページもご覧下さい。各PJTの活動内容と写真などがあります。都づくり会議 検索

巻頭言は、バラエティコーナー「ミヤコちゃんのエコまんが」でお世話になっております漫画家の船越 聡氏にお願いしました。今世の中が重大視している「プラごみ」がテーマとなっています。皆で知恵を絞ってプラごみ削減を前進させねばなりません！今号も行事が多く、初参加した「名月の宴」(9/14)の出席概要を紹介出来ませんでした。